

# 新聞新報

2018年(平成30年)

9月1日 土曜日

29面

## 「子ども食堂」保険補助検討

### 大阪市長 食中毒やけが備え

大阪市の吉村洋文市長は31日、地域の子どもたちに無料や低額で食事を提供する「子ども食堂」の課題となっている食中毒やけがなどに備えた保険について、来年度、独自の制度を創設して支援を検討する考えを示した。市の部局を横断する会議で「保険料の一定額を補助するような事業が構築できないか検討を」と指示した。

また、来年度に実施する

大阪市の吉村洋文市長は、教員採用試験から市内で学習支援ボランティアを経験した受験者を対象に加点する仕組みを設け、将来的に、福祉関係の職員採用にも拡大することを検討するとしている。

## 貧困対策で寄付

### 市が感謝状贈呈

#### リバー産業に

大阪市は31日、マンション開発を手がける「リバー



吉村市長から感謝状を受け取る河社長(右)  
(大阪市役所で)

産業」(本店・大阪市中央区)に感謝状を贈った。同社は市の子どもの貧困対策に賛同して7月、1000万円を寄付していた。市は、主に「子ども食堂」に関する費用に充てる。河啓一社長(80)は現代の子どもの貧困を、戦後の貧

しい時代に苦勞した自身の体験と重ね合わせたという。吉村市長から感謝状を

受け取った河社長は「市長自ら恵まれない人に思いをはせてくれて、こんなうれしいことはない」と述べた。